

一参画と協働の郷づくり

みんなの力で住民自治

シリーズ⑤「コミュニティビジネス」

コミュニティビジネスで地域の課題を解決！

「コミュニティビジネス」とは、少子高齢化への対応、商店街の活性化、高齢者や子育て支援、環境の保全など、地域のさまざまな課題やニーズに対応しながら、継続的な事業展開を行い、解決していく取り組みのことです。

地域との信頼関係の中で、事業を通して貢献し、その収益から活動経費を得ることのできるコミュニティビジネスは、地域のためだけでなく、そこで働く人の生きがいづくりにつながることから、多くの住民自治組織において取り上げられ、全国的にも注目されています。

地域の課題を解決する手段の一つとして、皆さんで知恵を出し合いながら、取り組んでみてはいかがでしょうか？

事例 1

過疎少子高齢化の村

人口約3,300人。昔から米が少なく、野菜も形の良いものがとれない土地であり、過疎化も進む一方である。

長所を
生かす

解決のカギ

- ◎郷土名物「おやき」
- ◎元気な高齢者

■課題解決方法

地域のおばあちゃんたちが主役となって、村の特産品「おやき」を製造販売。「60歳入社、歩けなくなった時が定年、生涯現役主義」を宣言して、和気あいあいと働ける場を創出し、過疎対策に貢献した。

事業は世界的にも発展し、国際線ファーストクラスの機内食にも採用された。事業規模は7億5千万円にも上り、村の大きな収入源にもなっている。



事例 2

商店街の衰退

最も栄えた商店街であったが、大型店の出店や過疎化のために衰退

短所を
逆手に

解決のカギ

- ◎昭和30年代以前の古い町並み
- ◎発想の転換

■課題解決方法

商店街の賑わいを取り戻すために始められた町おこし。昭和30年代以前の古い建物が約7割も残っていることを逆手にとって、中心商店街に昭和30年代の町並みを再現した。

全国から注目を浴び、2006年には、27万人の観光客が訪れるようになった。



■問い合わせ 伊予市行政改革・政策推進室 中山地域事務所住民自治担当 ☎967-1111